

保護者の皆様

牛久市立牛久第二小学校長 田中 久弥子

令和6年度 牛久第二小学校第2回学校評価アンケート結果について（報告）

初春の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、ご協力をいただきましたアンケートの集計と分析の結果をご報告いたします。データからの分析した内容や保護者の皆様からのご意見に対しまして、今年度末までの教育活動や次年度の教育活動に生かしていけるよう検討し、牛久第二小学校児童のさらなる健全な育成に今後も努めてまいります。

児童用アンケート結果（2024.12月実施）		そう思う	思言どうえちばらそかうと	思言どうえちなばらそかうと	思わない
1	あなたは、こまったときなどに先生（せんせい）に話（はなし）をきいてもらっている。	46.4	33.7	14.0	5.9
2	あなたは、先生（せんせい）や友達（ともだち）の話（はなし）をおわるまで静（しず）かにきいている。	49.0	37.3	10.4	3.3
3	あなたは、地域（ちいき）の人たちと一緒に（いっしょ）に活動（かつどう）したり、手伝（てつだ）ってもらったりしたことが自分の学びになっている。	54.9	32.0	7.9	5.2
4	あなたは、ペアやグループ学習（がくしゅう）をして、友達と協力（きょうりょく）して学んでいる。	62.4	26.5	8.8	2.3
5	あなたは、授業中（じゅぎょうちゅう）わからないとき、「教（おし）えて」と友達にきくことができる。	59.8	25.5	8.5	6.2
6	あなたは、自分（じぶん）が決（き）めた目標（もくひょう）を意識（いしき）してがんばっている。	53.3	32.4	10.4	3.9
7	あなたは、授業（じゅぎょう）で、モニターやタブレットを使（つか）った学習に取り組んでいる。	74.5	17.6	5.6	2.3
8	あなたは、学校（がっこう）や家庭（かてい）、地域（ちいき）で自分（じぶん）からあいさつしている。	52.0	32.7	11.1	4.2
9	あなたは、学校や家庭での読書（どくしょ）をしている。	49.0	26.8	14.7	9.5
10	あなたは、「いじめや仲間外（なかまはず）れをしない、させない」という気持ち（きもち）で、相手（あいて）の気持ちを考（かんが）えて話をしたり、行動（こうどう）したり、よさを見つけるようにしている。	57.8	32.0	7.3	2.9
11	あなたは、道徳（どうとく）の授業から「正（ただ）しい考えや、行動の大切（たいせつ）さ」を学んでいる。	61.8	28.8	6.5	2.9
12	あなたは、授業（じゅぎょう）や学校行事（がっこうぎょうじ）を通（とお）して、友達と仲良（なかよ）く生活（せいかつ）している。	75.8	19.3	2.9	2.0
13	あなたは、自分は「人の役（やく）に立（た）っている」と思（おも）ったことがある。	43.1	34.3	15.7	6.9
14	あなたは、学校で学習してわかったことを、家庭での生活や学習に生（い）かしている。	49.0	35.3	12.8	2.9
15	あなたは、「早寝（はやね）・早起（はやおき）・朝（あさ）ごはん」などの、規則（きそく）正しい生活をし、自分の健康（けんこう）に気を付（つ）けている。	51.0	33.3	10.8	4.9
16	あなたは、体育（たいいく）の授業や休（やす）み時間（じかん）の外遊（そとあそ）びなどを行（おこな）い、体が強（つよ）く丈夫（じょうぶ）になっている。	57.2	23.9	13.0	5.9
17	あなたは、登下校（とうげこう）のときや、家庭で自転車（じてんしゃ）に乗（の）るときなど、交通安全（こうつうあんぜん）に注意（ちゅうい）している。	70.6	23.2	2.9	3.3
18	あなたは、病気（びょうき）やけが、感染症（かんせんしょう）などを予防（よぼう）するために、手洗（てあら）いなどの気を付けることができている。	60.5	30.1	5.8	3.6
19	あなたは、学級内（がっきゅうない）に話（はな）せる友達（ともだち）がいる。	83.7	11.8	1.9	2.6
20	学校で学んだことを通して、地域や社会（しゃかい）をよくするために何（なに）ができるか考えることがある。（3年生以上）	35.6	36.4	16.9	11.1

【児童アンケート結果の分析】○は「4」「3」の肯定的回答90%以上の項目/▲は「2」「1」の否定的な回答20%以上の項目
 ○7への肯定的回答が92.1%である。継続してモニターやタブレット等を活用した授業に取り組む児童が多い。
 ○11への肯定的回答が90.6%である。週1回の授業を通して、道徳的な意識や態度が向上してきた児童が多い。
 ○12への肯定的回答が95.1%である。授業や行事等の活動を通して、友達と仲良く生活している児童が多い。

- 17 への肯定的回答が 93.8%である。地域で安全な生活を心がけ、行動できている児童が多い。
- 18 への肯定的回答が 90.6%である。病気や怪我をしないように生活する意識と行動を向上させている児童が多い。
- 19 への肯定的回答が 95.5%である。学級内に話せる友達がいる児童が増えている。
- ▲9 への肯定的回答が 75.8%である。以前より改善しているが、日常生活での読書に対する意識が課題である。
- ▲13 への肯定的回答が 77.4%である。日常生活において自己有用感が低い児童が増加している。
- ▲20 への肯定的回答が 72.0%である。地域の方々や施設などの授業サポート等による様々な学校での学びを通して、自らの地域社会の課題やその対応を考えようとするのが困難な児童が多い。

保護者用アンケート結果（2024. 12月実施）		そう思う	思言ど うえち ばら そかうと	思言ど わえち ばら ないそかうと	思わない
1	学校は、子供たちや保護者の話を聴き、児童理解に努め、信頼関係の構築に努めている。	48.3	45.4	5.2	1.1
2	学校は、子供たちに話を聴く大切さを教え、話をよく聴くことができる学級づくりに努めている。	46.5	46.8	6.3	0.4
3	学校は地域と連携を図って、子供たちの教育活動の充実に努めている。	56.9	37.9	5.2	0
4	学校は、学習課題や学習方法を工夫し、子供たちがペアやグループで主体的・対話的に学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	54.3	42.0	3.0	0.7
5	学校は、「笑顔で来て、自ら学び、笑顔で帰る児童の育成」を目指し、子供たちの教育活動に取り組んでいる。	40.5	50.9	7.5	1.1
6	学校は、子供の視覚的・効果的な学びのために ICT 機器（電子黒板やタブレット等）を活用した授業に取り組んでいる。	45.4	46.8	6.7	1.1
7	学校は、子供たちが読書をし、心を豊かにすることができるように努めている。	46.8	42.8	9.3	1.1
8	学校は、子供たちが学校や家庭、地域でのあいさつができるように取り組んでいる。	34.6	49.4	12.3	3.7
9	学校は、いじめや不登校が長期化しないように、未然防止・早期解決に努めている。	34.2	55.8	9.3	0.7
10	学校は、子供たちが正しい判断や行動をする力を高めるように、道徳の授業に取り組んでいる。	41.6	50.2	7.8	0.4
11	学校は、授業や学校行事など教育活動全般を通して、児童が互いに認め合い支え合う関係づくりに努めている。	46.1	48.0	5.5	0.4
12	学校は、さまざまな教育活動を通して、子供たちの自己有用感（役に立っている感情）の育成に努めている。	37.9	52.8	8.2	1.1
13	学校は、身に付けた知識・技能が家庭や社会で役立つように努力している。	32.7	53.9	12.3	1.1
14	学校は、子供たちが健康について自己管理できるように、家庭と「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活習慣の連携に努めている。	40.1	49.8	8.2	1.9
15	学校は、子供たちの体育の授業や休み時間の活動を工夫し、体力を高めることができるように努めている。	46.8	44.2	7.9	1.1
16	学校は、さまざまな教育活動を通して、子供たちの交通安全に対する意識を高めている。	46.5	43.9	8.5	1.1
17	学校は、子供たちの病気や怪我等への対応や、校内で感染症を蔓延させない対策に努めている。	41.3	48.7	9.3	0.7
18	学校は、学校だよりや HP、メール等を通して、学校の取組をよく発信している。	57.6	37.5	3.8	1.1
19	学校の教育方針を理解し、学校教育活動に満足している。	38.7	52.8	7.4	1.1

- 【保護者アンケートの分析】（○は「4」「3」の肯定的回答 90%以上の項目/▲は「2」「1」の否定的な回答 15%以上の項目）
- 1 への肯定的回答が 93.7%である。子供への学校と保護者の協力した対応が理解されていると考えられる。
 - 2 への肯定的回答が 93.3%である。教職員が子供の話を聴き、子供同士も互いに聴き合う授業づくりへの努力が理解されていると考えられる。
 - 3 への肯定的回答が 94.8%である。地域と連携による教育活動の工夫と充実がより理解されたと考えられる。
 - 4 への肯定的回答が 96.3%である。ペアやグループで学ぶ授業づくりの向上が理解されていると考えられる。
 - 5 への肯定的回答が 91.4%である。学校の経営重点目標への日常的な取組がより理解されてきたと考えられる。
 - 6 への肯定的回答が 92.2%である。効果的な学びのために ICT の活用の工夫が理解されてきたと考えられる。
 - 11 への肯定的回答が 94.1%である。日々の授業や行事等の様々な教育活動を通して、子供たちが互いに認め支え合う関係性を構築するための工夫した取組の継続が理解されてきたものと考えられる。
 - 18 への肯定的回答が 95.1%である。定期的な学校便りや学年便り、HP、マチコミ等のメールや連絡帳、必要に応じて電話連絡などを工夫し、学校からのお知らせが届いていることへの理解がされてきたと考えられる。
 - 19 への肯定的回答が 91.5%である。保護者の方々に学校の教育方針を理解していただき、今年度のこれまでの子供たちの教育活動に対しておおよそ満足されているものと考えられる。
 - ▲8 への肯定的回答が 84.0%である。毎朝の委員会活動による児童の挨拶運動の継続などにより改善されてきたが、子供たちの意識をより向上させるため保護者の協力も得て地域でも挨拶の習慣を定着させていきたい。

教師用アンケート結果（2024. 12月実施）		そう 思う	思言ど うえち ばら そかと	思言ど わえち なばら いそかと	思 わ な い
1	子供たちや保護者の話を聴き、児童理解に努め、信頼関係の構築に努めている。	89.5	10.5	0.0	0.0
2	子供たちに話を聴く大切さを教え、話をよく聴くことができる学級づくりに努めている。	84.2	15.8	0.0	0.0
3	総合的な学習（生活科を含む）の時間で、地域のヒト・モノ・コトを活用した授業づくりを行っている。	47.3	42.1	5.3	5.3
4	学習課題や方法を工夫し、子供たちがペアやグループで主体的・対話的に学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	68.4	21.1	10.5	0.0
5	「笑顔で来て、自ら学び、笑顔で帰る児童の育成」を目指し、子供たちの教育活動に取り組んでいる。	73.7	26.3	0.0	0.0
6	子供の視覚的・効果的な学びのためにICT機器（電子黒板やタブレット等）を活用した授業を週3回以上行っている。	84.2	15.8	0.0	0.0
7	子供たちが学校や家庭、地域で自分からあいさつができるように指導している。	47.4	47.4	5.2	0.0
8	子供たちが学校や家庭で読書をし、心を豊かにすることができるように努めている。	26.3	57.9	15.8	0.0
9	支持的風土のある学年学級づくりに取り組み、いじめや不登校が長期化しないように、未然防止・早期解決に努めている。	78.9	21.1	0.0	0.0
10	子供たちが正しい判断や行動をする力を高めるように、「考え、議論する道徳」の授業を心がけ、子供たちの道徳的実践力の醸成に努めている。	52.6	36.8	5.3	5.3
11	授業や学校行事など教育活動全般を通して、子供たちが互いに認め合い支え合う人間関係づくりに努めている。	78.9	21.1	0.0	0.0
12	授業や学校行事など、さまざまな教育活動を通して、子供たちの自己有用感（人の役に立っている感情）の育成に努めている。	73.7	26.3	0.0	0.0
13	身に付けた知識・技能が家庭や地域社会で役立つように工夫している。	36.8	57.9	5.3	0.0
14	子供たちが健康について自己管理できるように、家庭と「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活習慣の連携に努めている。	42.1	36.8	21.1	0.0
15	子供たちの体育の授業や休み時間の活動を工夫し、体力を高めることができるように努めている。	42.1	47.4	10.5	0.0
16	さまざまな教育活動を通して、子供たちの交通安全に対する意識を高めている。	57.9	36.8	5.3	0.0
17	子供たちの病気や怪我等への対応や、校内で感染症を蔓延させない対策に努めている。	63.2	31.5	5.3	0.0
18	保護者に対して学校だよりやHP、メール等（連絡帳を含む）を通して、学校の取組などをよく発信している。	52.6	47.4	0.0	0.0
19	今年度の校内研修テーマから自己テーマを設定し、それを意識した主体的・対話的で深い学びへの授業づくり（授業力の向上）に日々取り組んでいる。	68.4	31.6	0.0	0.0
20	働き方改革により子供と向き合う時間が増えている。	10.5	52.6	31.6	5.3

【教員アンケートの分析】（○は「4」「3」の肯定的回答100%の項目を抽出/▲は「2」「1」の否定的な回答20%以上の項目）

○1への肯定的回答が100%（「そう思う」89.5%）である。児童や保護者との一層の信頼関係構築が考えられる。

○2への肯定的回答が100%（「そう思う」84.2%）である。話を聴く大切さを意識した学級づくりへ努力を継続しているものと考えられる。

○5への肯定的回答が100%（「そう思う」73.3%）である。教職員皆が学校経営の重点目標を意識し、児童への教育活動の継続に努めているものと考えられる。

○6への肯定的回答が100%（「そう思う」84.2%）である。教職員が校内研修等を生かし、児童への効果的な学びとなるICT機器（モニターやタブレット等）の活用の工夫に日々継続的に取り組んでいることがわかる。

○9への肯定的回答が100%（「そう思う」が78.9%）である。支持的風土づくりを常に意識し、いじめや不登校への未然防止や早期対応（解決）に継続的に努めていることがわかる。

○11への肯定的回答が100%（「そう思う」が78.9%）である。授業や学校行事などの教育活動全般を通して、互いに認め支え合う子供同士の人間関係づくりを意識し、継続して取り組んでいることがわかる。

○12への肯定的回答が100%（「そう思う」が73.7%）である。授業や学校行事などの教育活動全般を通して、子供たちそれぞれの自己有用感の育成のために継続して取り組んでいることがわかる。

○19への肯定的回答が95.2%（「そう思う」が61.9%）である。市の教育方針が変更されたことを受け、校内の研修テーマより文部科学省が提唱する授業づくりへの自己課題を設定し、日々取り組んでいることがわかる。

▲20への肯定的回答が63.1%（否定的な回答が36.9%）である。教職員が授業づくりに向き合う時間を様々な視点で改善してきたが、教職員が子供と向き合いながらもより早く帰宅できる改善策を推進していく必要がある。

【保護者の皆様からの意見】

- 日頃の感謝をお伝えたく書きます。子が学校を嫌がらずに毎日行けるのは先生方の日々のサポートのおかげです。1年生の時は教室にずっといるのも難しかった我が子が、理科の授業で勉強した事を嬉しそうに話してくれたり、お友達と一緒に遊んだ話をしてくれたりする姿をみると親として胸が熱くなります。一人一人の特性に合わせた教育をして下さり本当に感謝しております。まだまだ課題は多いかと思いますが、これからもどうぞよろしくお願い致します。
- 先生方と職員の皆さま方には、感謝しかありません。いつも、安全で快適な学習環境づくりに心をくだいて下さり、ありがとうございます。
- 担任の先生の丁寧な対応のおかげで安心して学校に送り出すことができます。ありがとうございます。
- 担任の先生には、子どものことをよく見て頂きしっかりと向き合っていると感じています。今後ともよろしくお願い致します。
- 担任の先生がよく相談のってくれて、大変助かってます。いつもありがとうございます。どうか先生方も皆さんお身体の方、ご自愛ください。
- 泣いて登校していた娘にいつも寄り添っていただき感謝しています。おかげさまで学校生活にも慣れて元気に登校できるようになり、親として安心しています。今後ともよろしくお願い致します。
- お友達とのトラブルがあった時は担任の先生がとても丁寧に対応してくださり感謝しています。お忙しい中、毎度ご迷惑をおかけし本当にすみません。
- 毎朝氷点下近くまで気温が下がる季節になりましたが、毎朝変わらず見守ってくださっている地域のみなさま、ありがとうございます。風邪も流行っておりますので無理のない範囲で支えていただけるとありがたいです。
- サポーターさんや地域の方々には暖かく見守って頂きながら小学校生活を送ることができました。担任の先生とも楽しく過ごせたようです。これからは自分も地域の一員として出来る限りの見守りを続けたいと思いますし、中学に上がる子供にも小学生の模範となるように過ごして欲しいと願います。

→多くの保護者の方々より教職員への励ましのご意見をいただき、誠にありがとうございます。今後も「子供のより良い成長のために」自立への身に付けさせるべき力を保護者の皆様と対話し、共に考えていただけますようお願いいたします。また、登下校における地域の見守りサポーターの方々へも上記の感謝の言葉をお伝えいたします。高齢化が大きな課題となっておりますため、保護者の皆様による安全な登下校サポートへのご協力をより一層いただけますことを期待いたします。

- 登校班の人数が多く苦勞した1年でした。1班10人までと聞いたことがありますが、ボランティアの方が減っていることもあり、安全を考えるともっと少ない人数(5~6人程度)での設定を希望します。
- 娘から悩んでいると相談されました。登校班の事ですが、ほぼ毎朝決められた時間に来ず、遅れてくる女の子がいるそうです。ある程度待っていても来なかったらみんな遅刻してしまうから先に行くとは何度も注意しているようですが、守らないようで困っているそうです。保護者やボランティアの方ではない近所のご高齢の方が外でずっと待っている子供達の様子が心配でその子のお宅まで声かけをしてくれている事もあるそうです。遅れてくる子どもその子の保護者も周りの迷惑をきちんと考えていただきたいです。私自身も、お宅に行き保護者の方と話をしたいですがトラブルになってしまうかもしれないと考えたらどうしたらいいのか悩むところです。
- 朝の昇降口前の門が開く前に登校する児童があふれかえっている為、混乱を避ける為にも門だけでも早めに明けた方が安全に登校出来るように思います。ご検討のほど、よろしくお願い致します。
- 登校の時間について、夏場の登校時にあまり早く到着したら怒られてしまったとのこと。早起きの習慣ができて良いと思いましたが、残念です。
- マチコミメールにて「早すぎる登校を控える」よう呼びかけてほしい。新登校班編成のタイミングでも良いと思います。よろしくお願い致します。
- 旗当番の時に、挨拶しても返さない子供が多いです。チラ見して無視など、最低限の挨拶ができていないことが残念です。
- 神谷2区 跨線橋下の 朝登校班集合場所にて 石を階段や上空へ投げている一年生男子児童がおり、とても危ないので注意、指導をしてほしいと思います。よろしくお願い致します。

→「登下校の問題」はこれまでに数多くあり、学校側が班の子供たちを集めたり、保護者の方々へ協力を求めたりしながら学校が中心となってその都度時間をかけて解決を図って参りました。しかしながら、教職員の月80時間超の勤務時間外在校等時間の削減への取組が指示され、文部科学省が平成31年の中央教育審議会答申で示す「学校・教師が担う業務体制の見直し」の中で登下校に関する対応は基本的には学校以外が担うべき業務として分類され、本校でも登校班編成をPTA校外委員会へ数年前より移行しております。教職員としては、主に学校内での出来事に対する子供への指導・助言支援等を行っていくことを中心に考えてまいります。以上のことから子供たちの早過ぎる登校の抑制と共に朝の時間的ゆとりある登校、さらには教職員の勤務時間削減も兼ね、今年度の登校時刻をPTA運営委員やPTA校外委員長との確認の上で7:50~8:05に再設定し、昨年度3月と今年度4月に通知してきました。是非この趣旨をご理解いただき、各保護者の皆様には、お子様の各クラスで設定した集合時刻の再確認をしていただくと共に、1~2分前には集合できるようなお子様の生活習慣（お世話になっている地域の方々への感謝の挨拶等）の定着をご指導願います。また、設定した集合時刻まで待っても来ないお子様については、登校班はそれ以上待たずに保護者が責任を持って学校へ送ることになっていきますことを改めてご確認ください。繰り返されている課題に対しては、保護者の方々より各地区のPTA校外委員へご連絡いただき、解決を図れるように保護者への依頼を学校としても協力いたします。

○走る距離は減ってしまいましたが、持久走大会が全学年同じ日で開催されるようになり、とても助かりました。来年も同じように開催してもらえると助かります。

○コロナ禍に入学してしまったため、音楽発表を観たり、親子での活動が全くないまま過ぎてしまいました。今年は感謝の集いが感謝の会として復活しましたが、保護者は見ることができずとても残念でした。来年こそは予定に組み込んでもらえたらと思います。

→今年度の行事に対する貴重なご意見ありがとうございます。持久走におきましては、昨年度までは行事としてではなく普段の体育の一環として時間割通りに各学年で実施して参りましたが、保護者の方々が多数応援に来ていただける状況と、一単位45分間の授業時間の工夫によって1日で全学年の開催ができないかを検討いたしました。距離は少し短くなりましたが1日（午前中のみ）実施することでき、保護者の方の負担軽減や教職員の準備と片付け等の時間削減にもつながりました。保護者の方々のご意見と今年度の反省点を生かし、次年度も1日（午前中のみ）でよりよい開催ができる取組を検討してまいります。

また、コロナ禍前の「感謝の集い」を今年度より子供たちの練習時間や教職員の準備時間等を縮小、会場となる体育館の場を十分に確保する形で「感謝の会」として実施する工夫を考案いたしました。上記のような保護者の方々のご意見もあることは理解しておりましたが、今後も保護者の方々への自由な参加の場は設けない予定です。会の趣旨としては「子供たちが学校教育・授業の中で直接お世話になっているの方々へ感謝を表す場」とするため、日々の登下校への見守り活動や各学年の授業におけるサポーターなど、是非今後の子供たちの教育活動へ積極的にご協力くださいますようお願い申し上げます。

○いつもお世話になっております。来年は運動会での子どもたちのダンスが見たいです。他の学校は同じ時期の開催（5月）で少ない練習でも仕上がっているようです。また二小ストレッチは表現ではなく準備体操なので、ラジオ体操のように、毎年同じ曲、内容、順番で定番化する方が浸透しやすいのでは？と感じました。理解が早い高学年だけでもダンスを行って頂けると私たち親にとっても思い出に残ります。競争だけでは楽しめないお子さんもいると思いますので、ぜひご検討頂けると嬉しいです。微力ながら私にも協力できることがあれば、いつでもお手伝いいたします。

→運動会の表現運動につきましては、5月に運動会を開催している市内の学校や近隣市町村の学校の状況などを確認しながら検討する必要があります。午前中で終了する運動会の形は次年度移行も変わりありません。表現運動の実施にあたっては、各学年の実施時間や種目数などの状況も加味した上で各学年がそれぞれ表現運動の実施が困難な場合でも、高学年ブロックのみや卒業生となる6年生のみの実施など、今後を見通し次年度に向けた可能な案（全校でのラジオ体操の実施も含めて）を校内で協議してまいります。

○いつもお世話になっております。自主性について、児童たちの決めごとに先生方が決めてしまう所があるようで、児童たちの自主的な意見による決め事ができないようです。もう少し児童のやりたいことに耳を傾けるべきだと思います。

→学校教育のバイブルである現行学習指導要領（文部科学省）の中でも教科外指導の1つとして特別活動の充実のために目指す資質・能力の育成として、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3視点からキャリア教育の育成が示されています。

す。このことから、子供たちには各学年の発達段階に応じて自分たちの生活をよりよくするための話し合い活動（役割分担に応じた活動の設定と工夫等）を体験していく機会が必要です。さらに、子供の声を丁寧に聴く時間の確保も重要です。学級担任のみでなく教職員一同が子供の困り感に寄り添い、子供自身が解決していけるような力を高められるよう取り組む努力を今後もして参ります。そのためにも、教職員が学校内での授業づくりを中心とした校内研修体制や、学校内での問題行動等の出来事に集中して対応することへ保護者の皆様のご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

○以前、保健室から靴下をお借りしました。『返却は未使用品のもの』との事で新品を用意しましたが、返却用に借りたサイズの靴下1足分を探し購入するより洗濯して早く返却出来ると思うのですが、未使用品を返却する理由は衛生面を考慮の上なのでしょうか？下着なら分かりますが靴下も？と思ってしまいました。それ以降はなるべく拝借する事ないよう私物の靴下を常時ランドセルポケットに入れてあります。借りるまで知らなかったので、年に1回くらいは保健だより等で学校備品の対応についてご連絡頂けると保健室にもご負担おかけする機会が少なく済むかとも思うのでご検討よろしくお願ひします。

→本校の事案ではありませんが、誰かが着用した下着や靴下を自分の子供が借りて使用することを衛生面で拒否される子供や保護者の方がいるような現状があります。学校としてもそのようなことは気にしない子供や保護者の方が多いことは十分にわかっておりますが、ご意見をいただきました保護者様のように、お子様の失敗から考え学んでいただき、それ以降は借りなくて済むような手立てをお子様と共に講じていただけることが学校としても有り難い限りです。また、保護者の皆様への周知不足は学校として反省すべきところでしたため、保健だよりにて改めてお知らせの機会を設けてまいります。

○貸し出し用の上履きについて、厳しいかもしれませんが、貸し出し廃止はどうでしょうか？忘れた生徒は、1日靴下で過ごせばいいと思います。理由は、自立を養うため。貸してもらえると甘えが子どもと親にある限り、忘れ物は減らないと思います。又、学校の経費を使って購入、先生方の管理や業務が大変だと思います。靴下で不快に思ったり多少のケガが嫌なら、忘れ物しなければいい。私はそれでいいと思います。それでも、貸出が必要なのであれば、返却のルールを守れない家庭には厳しめに何度も連絡してよいと思います。

→学校での基本的な対応の考え方は、上記の「靴下」の対応と同様に「困っている子供に手を差し伸べること」「失敗から考え学ばせていくこと」にあります。実は昨年度の途中まで上履きを忘れた児童へ貸し出していた学校の上履きは、教職員が放課後や休日に学校で洗っていた状況でした。子供たちが上履きを忘れて学校でどのように対応しているかを保護者の方が知らないこと、同じ子供が忘れてもそれに当たり前のように貸し出してもらえる対応を繰り返していること、教職員が勤務時間外に対応している負担があること等を改善すべく、貸し出し用上履きの校内対応を「借りた日に子供が持ち帰ること」に変更しました。本来は、毎週末に子供が自分の上履きを待ち帰って洗って週初めに持ってくるのが学校のきまりです。しかし、上級生になるにつれて持ち帰らない子供や忘れてくるような子供が増えてくるのも現状です。上記の靴下の対応と同様に、子供たちには自分が身に付けるものの衛生面や安全面での意識と共に自分ができること（すべきこと）を学年が上がるにつれて向上させていく教育が子供を取り巻く教師や保護者の責務であると考えます。学校としては今後も子供が失敗から学べるよう諦めずに支援し、ご家庭の協力が得られるように連絡等の対応は継続して参りますので、保護者の皆様もお子様の持ち物のご確認（特に月曜日）、自分ですべきことが身に付く（例：上履きを自分で洗う、持ち物を管理するなど）ご家庭でのご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。

○マチコミ「施設からのお知らせ」更新が2022年で止まっているが、もう更新しないのか？

→学校からの必要なお知らせは通常のマチコミのメールにて保護者の方々へ周知しております。

○公園の危険物ですが、市役所に撤去依頼してもなかなか回収されない現状です。あとはどこに依頼すれば回収して頂けるのか相談したいです。

→学校といたしましても公園は施設外であり、管理外のもの（子供たちが外でどこからか集めてきてしまったもの）との報告を受けておりますことから、牛久市役所もしくは牛久警察署への問い合わせをお願いいたします。併せまして、今後も同様に心配されるような子供の遊びや危険なこと等がないよう、放課後や休日のお子様の過ごし方（いつ・どこで・だれと・どのように遊んでいるか・何時に帰宅するか）等において、今後の不審者対策としてもご家庭で保護者の皆様によるお子様の管理へのご協力をお願いいたします。

○給食の準備が遅くなって食べる時間が少なくなってしまうことがたまにあるみたいでしっかり噛んで食べることができないと言っております。歯の矯正もして食べづらい状況の中、時間も短くなってしまうと咀嚼の教育ができていないように感じます。

→学校の行事等で4校時が通常時刻（11:55）に終了できずに延びてしまった場合には、給食の時間を多少変更する対応をすることがありますが、普通の授業が様々な理由（子供たちが振り返りを書く時間の確保、最後に指名した児童が発言できずに皆で待っている状況など）によって延びてしまうことはあり、その都度給食の時間をクラス毎に変更してよいことにはなっておりません。むしろ、授業が延びてしまった際には、給食当番以外の皆で早く準備できるように協力し合ったり、その日は黙食で食べるように皆で考えたりして、学校で決められた給食時間（目安として11:55～12:10準備、12:10～12:35食事、12:35～12:40片付け、12:40～歯みがき など ※上学年になると準備時間が短縮され、多少の時間変動あり）を守る意識の向上や定着を図ることも大事な教育と捉えております。また、学校では、可能な限り給食のための準備の時間にも担任一人ではなくサポートする人員（担任外の教員、スクールアシスタントの職員など）が早く準備できるように手伝うサポートもしております。担任としては、できる限り通常の時刻に4校時を終了し、給食時間（特に食べる時間）の確保に今後とも努めてまいります。

○今期のアンケート期間に該当するかは不明ですが、先生の出張が多い気がする。自習になった時もあった様子です。課題等はあったのかもしれませんが、低学年生において監視下でなく自習するかは、いささか疑問です。学校は登校して教えを乞うところかと存じます。先生には、ご迷惑をお掛けしております。遅い時間にお電話を頂戴し恐縮でございます。子供と共に保護者としても成長せねばならないと思いました。しかし、学校関係機関において先生皆様の職務量の軽減を強く望みます。

→教職員が学校を離れて研修する機会が設けられているのは、授業に影響がないようにする前提にあります。若手の教職員も二小には多くおりますため、学校を離れての研修も多くある現状ですが、どうしても不足の際には校長や教頭の管理職も授業支援をしている現状です。そのような中で、低学年の授業において子供たちが自習になってしまった対応への事実は学校として反省すべきところだと思います。ご心配をおかけいたし申し訳ありませんでした。今後はこのようなことが無いように校内でより一層連携を図りながら、保護者の皆様と共に教職員一同成長していけるように取り組んでまいります。

○17時に学童に迎えに行きましたが、学童から保護者が停める駐車場に行くまでの角にソーラーライトがありますが、ライトが暗すぎて、見えなくこの前つまずきました。あのライトでは光が弱いので、もっと明るいライトをつけて下さい。また、最近闇バイトで簡単な人を殺す凶悪事件が増えています。小学校の入り口は常に開いているので、誰でも入られてしまいます。ライトだけではなく、「ライトがついた防犯カメラ」を1つ学童まで行く場所の角に付けて頂きたいです。参考にライト付き防犯カメラの名前載せますので、このような防犯ライトの検討をお願い致します。

→児童クラブは放課後に帰宅せずに子供たちが利用しやすいように学校の施設内にありますが、管轄は学校ではなく、牛久市教育委員会生涯学習課となります。ご意見や対応へのご連絡につきましては、学校ではなくそちらへ保護者様より直接ご相談くださいますようお願いとご協力をよろしくお願いいたします。

また、防犯カメラの増設につきましては、牛久市教育委員会学校施設課より今年度中（2月頃）に新たに数台の防犯カメラの設置（場所・機種・業者等）が既に決まっておりますことをお伝えいたします。

保護者の皆様のご意見を多数ありがとうございました。
今後とも学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。